



やすひさの瓦版 (第86号)

HP <http://www.y-shiozaki.or.jp>

E-mail shiozaki@y-shiozaki.or.jp

2010年7月31日

自由民主党愛媛県第一選挙区支部長
衆議院議員 塩崎 恭久
〒790-0003 松山市三番町4-7-19
TEL089(941)4843 FAX089(941)4894

日本再生のチャンスを活かせ

先の参院選では多くの皆様に大変お世話になり、お陰様で愛媛でも良い結果を出すことができ、心から感謝しております。

全国でも、自民党が改選第一党、与党は過半数割れ。結果、衆参に「ねじれ」が生じ、国会運営は困難になりました。

しかし、これは日本にとりチャンスです。一度立ち止まり、国に必要な政策は何かを与野党が真剣に考えられるからです。民主党の議論なき暴走は許されません。目指すは、「答えを出す国会」です。

昨夏、「自民党的政治への不満」のうねりが政権交代をもたらしました。しかし、その後の民主党的政治、「ビジョンなきバラマキ政策」や、「思いつき」で消費税増税を唱える菅首相に、国民が不安を覚えた結果が、今回の参院選です。

また、私たち自民党も「ねじれ」を悪用することなく、良い法案は成立させ、他方異論のある法案は与野党で徹底的に議論し、思い切った修正、成立を目指す。また、与野党相容れない法案は粘り強く審議すべきです。

今回の選挙では、自民党は、得票数では選挙区、比例代表ともに三回連続民主党に敗れ、比例代表の議席数も最低記録でした。また、「自民党の政権復帰に期待しますか？」との問いには、6～7割の国民が否定的、という厳しい現実です。

自民党は次の二つの行動を取るしかないでしょう。

まず第一は、徹底した党改革。古い自民党とはまったく異なる政党になったと思えるほど、人事、組織、国民の声の吸収の仕方など、意志決定の仕組みをすべて変えます。そのため、外部の目も入れ、結党以来半世紀を超す歴史を振り返り総括する。

第二に、民主党との政策的違いをはっきりさせる。政権交代以降明らかになったことは、民主党は労働組合に引きずられ、国家戦略局断念のように政治主導を放棄し官僚主導の政治で、「結果平等」のバラマキ政策の大きな政府を作る政党だ、ということです。これに対し自民党は、私がとりまとめた成長戦略「日本フェニックス戦略」にあるように、「頑張る人が報われ、失敗しても何度でもチャレンジができ、ハンディゆえに頑張れない人々には温かい支援を行う、身軽で自由、民主的、オープンな、活力ある日本」を目指す政党であることを、力強く打ち出すべきです。

今回の「ねじれ」をチャンス、バネとして、日本も自民党も一変させる。そして、強い日本を復活させて再び皆が夢と希望の持てる国家、地域を実現したいと思います。



開票日深夜「真性ねじれ」の下での日本の将来につき激論。
(7/12・「田原総一郎が斬る!激論!ド～なる?!日本」東京)



道後・湯築小学校の生徒と一緒に田植え
(6/5・松山市宿野町)

ともに戦いぬいた！ 参議院選挙！



塩崎後援会一致団結して勝利を誓う。
(6/5・決起大会、松山)



山本順三候補と一緒に随所で街頭演説。
(6/23・松山)

「やすひさ」が行く、見る、聞く



内航海運の抱える様々な課題についての意見交換会 (5/22・松山)



柳井町を盛り上げる若者たちの「ステクル莓氷本舗」にて
(5/16・ライブアースまつやま2010、松山)



土曜夜市で久しぶりの金魚すくい。むずかしい…。
(6/19・松山中央商店街)



毎年恒例のおはようサイクリングで清々しい朝をスタート！
(6/20・松山)

「日本フェニックス戦略」で日本再生

バラマキをやめ、「雇用」「所得」の拡大に向け、「イノベーション」「オープン」「パワーアップ」の3本柱政策により、強い日本を復活させる成長戦略を、党特命委座長としてとりまとめ。

(5/14)



参院選選挙公約発表 (6/17・東京)



塩崎恭久と明日を語る会

久方ぶりに昼食会形式で「塩崎恭久と明日を語る会 in 東京」を開催。民主党の政策では日本の根本問題は解決せず。(6/21・東京)

子宮頸がん撲滅のために

私が議連幹事長を務める「自民党ワクチン政策に関する議員連盟」主催の「子宮頸がんを撲滅するためのワクチン普及に向けたシンポジウム」にパネリストとして参加。(4/22・東京)



おいしいお米をみんなで作ろう！

～えひめアウトドアクラブ～

えひめアウトドアクラブのメンバーと東温市の重信川上流の田んぼで米作り。5月は、実際に手植えをして、昔の方の苦勞を身をもって実感する。7月には、草刈り、肥料を散布しながら、すくすく育った稲穂を見て感動。収穫がとても楽しみです。



田植えの後にメンバーと (5/8)



小さな白い花を咲かせて穂が大きくなった稲の前で (7/31)

「がんに克つ より良いがん対策へ」 「第23回フォーラム21」開催

がん対策基本法施行から丸3年余。愛媛県議会でも、がん条例が制定されました。患者・家族にとって、地域にとって、より良いがん対策はどうあるべきか、専門家も交えて考えたいと思います。

パネリスト：日本医療政策機構 理事 塩岡健一氏
愛媛県議会がん対策推進議員連盟 会長 岡田志朗氏
国立病院機構四国がんセンター 谷水正人氏
NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長 松本陽子氏
コーディネーター：衆議院議員 塩崎恭久

日 時：平成22年9月12日(日) 13:30～16:00

場 所：大和屋本店 2F「大和の間」

道後湯之町20-8 (089-935-8880)

問合せ先：089-941-4843 (担当：望月、岡)